



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年10月30日

上場会社名 日東化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 5104 URL <http://www.nitto-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒川 良平

問合せ先責任者 (役職名) 理事管理部所管 (氏名) 楯野 卓也

TEL 0467-74-3111

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	3,759	2.8	110	29.9	110	28.8	81	22.9
30年3月期第2四半期	3,869	4.9	158	7.8	155	6.1	106	26.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	21.32	
30年3月期第2四半期	27.67	

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	6,349	2,648	41.7	690.04
30年3月期	6,610	2,623	39.7	683.74

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 2,648百万円 30年3月期 2,623百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		15.00	15.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,650	2.2	330	9.8	320	8.6	240	18.9	62.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	3,840,000 株	30年3月期	3,840,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	2,386 株	30年3月期	2,366 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	3,837,617 株	30年3月期2Q	3,837,815 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
経営概況報告 平成30年3月期第2四半期決算 .....	8
当期の業績予想 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、雇用情勢や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、海外では、米中間で激化し始めた貿易摩擦による世界経済への影響が懸念されるなど、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境下、売上高につきましては、成形品での一部製品が販売終了したこと等により前年同期比減収となりました。また、利益面におきましても、販売の減少影響に加え、環境整備にともなう修繕費の増加等により前期比減益となりました。

その結果、当期の業績は売上高3,759百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益110百万円（前年同期比29.9%減）経常利益110百万円（前年同期比28.8%減）、四半期純利益81百万円（前年同期比22.9%減）となりました。

（セグメント別の状況）

（ゴム事業）

ゴム事業全体の売上高は前年同期を66百万円下回る2,860百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

<ゴムコンパウンド>

自動車関連の受注が堅調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。

<シート・マット>

ゴムシートは概ね前年同期並みの売上高となりました。ゴムマットにおきましては、主力製品であるブラックターフやクッションマットの受注が好調に推移したことにより、シート・マット全体としては前年同期を上回る売上高となりました。

<成形品>

クッションタイヤ等の売上は好調に推移しているものの、一部製品の販売終了の影響により前年同期を下回る売上高となりました。

（樹脂事業）

樹脂事業全体の売上高は、前年同期を43百万円下回る887百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

<高機能樹脂コンパウンド>

受注量は前年同期並みに推移しましたが、製品構成の影響により、前年同期を下回る売上高となりました。

<樹脂洗浄剤等>

樹脂洗浄剤の受注は堅調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。導電性樹脂ECXにおいては、概ね計画通りの受注で推移しておりますが、前期はスポット受注があったことにより、前年同期を下回る売上高となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は6,349百万円となり、前期末に比べ261百万円減少しました。流動資産は、主に売上債権が減少したことにより、前期末に比べ290百万円減少しました。また、固定資産につきましては、主に設備投資額の増加により、前期末に比べ28百万円増加しました。

負債は3,701百万円と、前期末に比べ285百万円減少しました。流動負債は、主に借入金の返済及び買入債務の減少により、前期末に比べ290百万円減少しました。固定負債は、概ね前期末並みの残高となりました。

純資産は2,648百万円と、前期末に比べ24百万円増加しました。これは配当金支払いによる減少はあるものの、主に当第2四半期累計期間における四半期純利益によるものであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、416百万円の収入となり、前年同期に対し139百万円の収入増となりました。これは主に、売上債権の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは132百万円の支出となり、前年同期に対し94百万円の支出増となりました。これは主に、設備投資による支出が増加したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、217百万円の支出となり、前年同期に対し112百万円の支出増となりました。これは主に、配当金の支払い及び借入金の返済額が増加したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は302百万円となり、前年同期末に比べて66百万円の増加となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年4月27日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	235	302
受取手形及び売掛金	2,504	2,251
商品及び製品	238	180
仕掛品	128	137
原材料及び貯蔵品	193	184
その他	134	86
流動資産合計	3,433	3,143
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	554	584
機械及び装置(純額)	702	735
土地	1,575	1,575
建設仮勘定	62	35
その他(純額)	108	121
有形固定資産合計	3,003	3,052
無形固定資産		
その他	45	38
無形固定資産合計	45	38
投資その他の資産		
投資有価証券	27	27
関係会社株式	16	16
繰延税金資産	81	69
その他	6	6
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	127	114
固定資産合計	3,176	3,205
資産合計	6,610	6,349
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,407	1,293
短期借入金	1,610	1,460
1年内返済予定の長期借入金	20	20
未払法人税等	48	21
賞与引当金	94	59
その他	382	418
流動負債合計	3,563	3,272
固定負債		
長期借入金	30	20
退職給付引当金	366	378
役員退職慰労引当金	18	22
資産除去債務	7	7
固定負債合計	423	428
負債合計	3,986	3,701

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920	1,920
資本剰余金	0	0
利益剰余金	702	727
自己株式	△2	△2
株主資本合計	2,620	2,644
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3	3
評価・換算差額等合計	3	3
純資産合計	2,623	2,648
負債純資産合計	6,610	6,349

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	3,869	3,759
売上原価	3,383	3,328
売上総利益	485	430
販売費及び一般管理費	327	319
営業利益	158	110
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
未払配当金除斥益	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	4	5
営業外費用		
支払利息	7	4
その他	0	0
営業外費用合計	7	5
経常利益	155	110
特別損失		
固定資産除却損	2	3
関係会社出資金売却損	26	-
特別損失合計	28	3
税引前四半期純利益	126	107
法人税、住民税及び事業税	20	12
法人税等調整額	-	12
法人税等合計	20	25
四半期純利益	106	81

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	126	107
関係会社出資金売却損	26	—
減価償却費	104	110
固定資産除却損	2	3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1	11
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	△34
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	7	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△170	252
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5	56
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△12	47
仕入債務の増減額 (△は減少)	277	△114
未払費用の増減額 (△は減少)	12	△14
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△68	23
小計	294	454
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△7	△4
法人税等の支払額	△14	△36
営業活動によるキャッシュ・フロー	276	416
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△76	△132
固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△0	—
関係会社出資金の売却による収入	38	—
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37	△132
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△38	△57
長期借入金の返済による支出	△107	△10
長期借入れによる収入	60	—
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20	△150
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105	△217
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	133	66
現金及び現金同等物の期首残高	106	235
現金及び現金同等物の四半期末残高	239	302



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

# 経営概況報告

平成30年10月  
日東化工株式会社

## 平成31年3月期第2四半期決算

(単位:百万円:切捨表示)

	当第2四半期	前第2四半期	差 異	伸び率 %
売 上 高	3,759	3,869	△ 109	△ 2.8
営 業 利 益	110	158	△ 47	△ 29.9
経 常 利 益	110	155	△ 44	△ 28.8
特 別 損 益	△ 3	△ 28	25	-
当 期 利 益	81	106	△ 24	△ 22.9

## (売上高比較)

(単位:百万円、切捨表示)

事 業 別		当第2四半期	前第2四半期	差 異	伸び率 %
ゴ ム 事 業	コンパウンド	1,522	1,511	11	0.8
	シート・マット	673	658	15	2.3
	成 形 品	664	758	△ 93	△ 12.4
	計	2,860	2,927	△ 66	△ 2.3
樹 脂 事 業	高機能樹脂コンパウンド	623	651	△ 28	△ 4.3
	樹脂洗浄剤等	263	279	△ 15	△ 5.5
	計	887	930	△ 43	△ 4.7
その他		11	10	0	5.0
合 計		3,759	3,869	△ 109	△ 2.8

総資産 6,349 6,458

ROA 3.4% 4.9% 経常利益/総資産(期首・期末平均)

## 決算等概況説明資料(2/2)

## 当期の業績予想

日東化工株式会社

## (1) 損益

(単位:百万円、切捨表示)

	30年度	29年度	差異	伸び率%
売上高	7,650	7,825	△ 175	△ 2.2
営業利益	330	300	29	9.8
経常利益	320	294	25	8.6
特別損益	△ 10	32	△ 42	-
当期利益	240	295	△ 55	△ 18.9
総資産	6,600	6,610		
ROA	4.8%	4.6%		

## (2) 売上高

(単位:百万円、切捨表示)

事業別		30年度	29年度	差異	伸び率%
ゴム事業	コンパウンド	3,050	3,037	13	0.4
	シート・マット	1,450	1,443	7	0.5
	成形品	1,200	1,469	△ 269	△ 18.3
	計	5,700	5,950	△ 250	△ 4.2
樹脂事業	高機能樹脂コンパウンド*	1,330	1,312	18	1.4
	樹脂洗浄剤等	600	540	60	11.1
	計	1,930	1,852	78	4.2
その他		20	21	△ 1	△ 4.8
合計		7,650	7,825	△ 175	△ 2.2